

イマドキ大学生の生活実態調査！

一人暮らしの親の「家賃」「仕送り・小遣い」負担は月平均 95,293 円。

大学入試センター試験が終わり、あと1~2ヶ月もすれば、受験生たちの進路先が決まる。春からは親元を離れて新生活を送る人もいるが、初めての一人暮らしで、何かと不安を抱く子、そして親も多いのではないだろうか。

そこで、キャリルーノ（本社：東京都港区／代表：井端純一）は、現役大学生 459 人を対象に、『学生生活におけるアンケート調査』を実施し、一人暮らしの部屋の家賃や月々の仕送り・小遣い額、奨学金受取額や、インターネット端末の利用率などを調査した。その結果、子どもに一人暮らしをさせる場合、家賃の支払いや子どもへの仕送りなどで親が月々に負担する費用は平均 95,293 円であることが分かった。

■調査概要

有効回答	現役大学生の男女 459 名
調査方法	アンケート調査
調査期間	2012年10月1日（月）～11月30日（金）

□詳しくはこちら：<http://www.o-uccino.jp/cariruno/contents/toku/daigakusei2012.html>

□賃貸サイト「キャリルーノ」はコチラ：

(スマホ) <http://chintai.cariruno.jp/>

(PC) <http://www.o-uccino.jp/cariruno/>

1. 一人暮らしの親の「家賃」「仕送り・小遣い」負担は実家暮らしの約6倍！

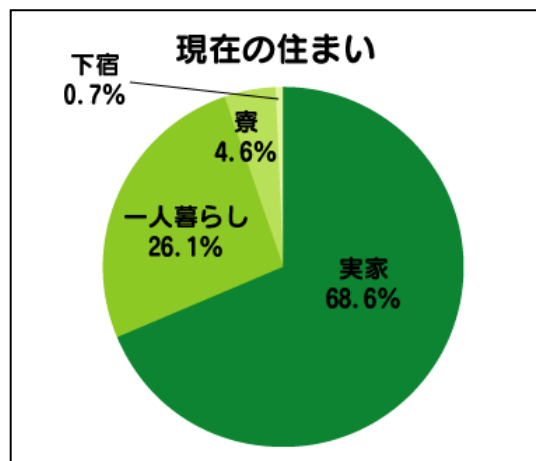
今回、アンケート調査を行った大学生 459 人のうち、実家暮らしが 68.6%、一人暮らしが 26.1%、寮暮らしが 4.6%、下宿が 0.7%、という内訳だった。

一人暮らし（寮・下宿を含む）の大学生の平均家賃は 57,278 円で、約 85.4% の学生が家賃のすべてを親に負担してもらっていた。

親から家賃以外で仕送りや小遣いをもらっている人は、実家暮らしは 45.7% なのに対し、一人暮らしでは 80.0% にのぼる。またその金額は、実家暮らしは平均 16,083 円であるのに対し、一人暮らしが平均 45,161 円と、約 2.8 倍の開きがあった。

親が月々負担する「家賃」と「仕送り・小遣い」を合わせて考えると、子どもが実家暮らしの場合は平均 16,083 円なのに対し、一人暮らしの場合は平均

95,293 円と、約 6 倍もの差があることになる。子どもが実家で生活する場合の一人分の食費や光熱費、雑費を考慮しても、大きな差である。また、子どもが一人暮らしをする場合は、学費とは別に年間 110 万円以上、大学 4 年間で 450 万円以上の出費を想定する必要があると言える。



■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。■
 キャリルーノ編集部 清水菜保子（株式会社オウチーノ）〒105-0012 東京都港区芝大門 2-9-16
 <TEL: 03 (5776) 1746 FAX: 03 (5776) 1747 E-MAIL: n-shimizu@o-uccino.jp>

一人暮らし/実家暮らし 生活実態比較				
	一人暮らし (寮・下宿含む)		実家暮らし	
	割合	平均月額	割合	平均月額
家賃	—	¥ 57,278	—	—
親の家賃負担	家賃の100%を親が負担している割合 85.4%	¥ 53,833	—	—
親からの仕送り、小遣い (家賃を除く)	もらっている割合 80.0%	¥ 45,161	もらっている割合 45.7%	¥ 16,083
親の仕送り+家賃負担の合計	—	¥ 98,994	—	¥ 16,083
生活費 (家賃除く)	—	¥ 36,267	—	¥ 27,868
アルバイト収入	アルバイトをしている割合 41.7%	¥ 37,100	アルバイトをしている割合 69.5%	¥ 44,055
奨学金	奨学金をもらっている割合 31.3%	¥ 60,429	奨学金をもらっている割合 20.0%	¥ 51,335
一人暮らし派	実家暮らしより一人暮らしが好き 54.2%	—	一人暮らしをしてみたい 67.6%	—
シェアハウス関心度	シェアハウスに住んでみたい 25.0%	—	シェアハウスに住んでみたい 51.4%	—

2. シェアハウス関心度、一人暮らし 25.0%、実家暮らし 51.4%。

次に、「あなたはシェアハウスに住んでみたいと思いますか？」という質問をした。実家暮らしの 51.4%が「住んでみたい」と答えたのに対し、一人暮らしで「住んでみたい」と答えたのは 25.0%と、大きな差が生じる結果となった。「住んでみたい」と答えた人の理由としては、「ドラマなどで見て楽しそうだった」「共同生活の中で学べるものがありそう」などが挙げられた。一方、「住みたくない」と答えた人は、「一人の時間が欲しい」「他の人に生活を見られるのは嫌」などの理由を挙げた。「他人と暮らす」ということに対して抵抗を感じるかどうかは個人差だが、家族が同じ空間にいる「実家暮らし」と比べて、誰にも干渉されない「一人暮らし」を経験することで、その抵抗を持つ人が増えるのかもしれない。

3. スマホ普及率 80%超。使用頻度は端末の中で 1 位。

最後に、普段使用しているインターネット端末と、その使用頻度について質問をした。最も利用者が多かったのがパソコンで 92.5%、次にスマートフォンで 80.1%、携帯電話が 22.6%だった。

使用頻度に関しては、普段使用している全端末の使用頻度を 100 としたときの、各端末の頻度を数字で表してもらった。(例えば、パソコンとスマートフォンを同じくらいの頻度で使用している場合はパソコン=50、スマートフォン=50 となる。) PC の使用頻度を 50 以上と答えたのは、利用者の 23.0%だったのに対し、スマートフォンは 93.2%となり、端末の中で最も使用頻度が高いことが分かった。

パソコンとスマートフォンの両方を持っている場合、やはり移動中や外出先でも使用できるスマートフォンでのインターネット利用が多いようだ。しかし、だからと言って学生たちのパソコン離れが起きているわけでもなく、パソコンの利用者が 9 割を超えていることから、パソコンとスマートフォンの使い分けがされていると言えるだろう。

記事の詳しい内容はコチラ : <http://www.o-uccino.jp/cariruno/contents/toku/daigakusei2012.html>

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。■
 キャリルーノ編集部 清水菜保子 (株式会社オウチーノ) 〒105-0012 東京都港区芝大門 2-9-16
 <TEL : 03 (5776) 1746 FAX:03 (5776) 1747 E-MAIL : n-shimizu@o-uccino.jp>